　　　　　　　平成27年度　特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人　みんなの広場｢風｣

１　事業の成果

（１）生産活動・就労支援事業として、讃岐うどん作り、自然農による農作業、農産物の加工品作り、お菓子づくり、販売、公園清掃を行い利用者の生産活動の喜びと共にコミュニケーション能力やソーシャルスキルを向上させました。

（２）日常生活支援事業として、施設の清掃、調理、洗濯、買い物、など日常の生活の自立支援を行い利用者の生活能力を高めました。

（３）地域活動と創作活動事業として、季節に応じた「風」主催事業（旅行、スポーツ、レクリエーション、コンサート）を利用者と共に実行委員会を組織し、企画・運営をすることで利用者の自立意識を高め、地域の障害福祉への啓発につなげました。その行事の中でハンドベル演奏や絵手紙を描いて発表することで利用者の自己肯定感と活動への意欲を高めました。

数多くの地域の行事、バザーに参加をし、市民の障害福祉への理解と関心を高めました。

エコ野菜と加工品の販売拠点「アビ―ズファーム」を新規就農農家の方々とオープンし、エコ農業とエコ野菜の啓発と共に障害者福祉の啓発を行いました。

当施設１階に、まちづくり協議会や自治会、きらめきサロン(高齢者支援)、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会と連携してサロンを開設しましたが月200名を超える利用がありました。まちづくり協議会が主催する「久寺家生活お助け隊」の一員として、高齢者宅の草取りなどを行いました。

それらのつながりで、「風」の活動の支援者が増えるなど、住民の理解、支援がさらに豊かになりました。

（４）相談支援事業として、年に２回の利用者の個人面談をおこない、利用者のニーズや関心を把握し、利用者各自の活動目標の設定をし、支援者の支援目標を明らかにしました。

利用者や利用者の家族、支援を必要としている地域の方や家族からの相談を随時受け、行政サービスや医療、支援に繋がる地域資源の紹介、本人の課題解決の支援を行いました。

我孫子市障害福祉課・社会福祉課のケースワーカー、障害者まちかど相談室、我孫子市社会福祉協議会他の支援団体と連携をして、支援内容を深めました。就労支援経験のある地域の方の協力により就労相談を定期的に行い、利用者1名がA型作業所に就労しました。

（５）就労継続支援Ｂ型に移行するために調査研修を深めました。

以上のことを、利用者個人のニーズと個性を見極めつつ適切な支援に努め、支援の質を高めるために、職員の研修を積極的に取り入れました。

２　事業の実施に関する事項

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額　　　（千円） |
| 地域生活支援事業 | 讃岐うどん、カボチャプリンの製造販売 | 通年 | 市内　　　　　バザー会場 | 19人 | 不特定多数 | 5,599 |
| 農作業により収穫した農作物の販売及び味噌・らっきょう等の加工品の販売・お助け隊 | 通年 | 市内 | 19人 | 不特定多数 |
| 公園清掃 | 月8，9回 | 近隣の公園他 | 19人 | 近隣の住民 |
| 作業支援事業 | 作業が円滑に進むような支援 | 通年 | 法人作業所 | 9人 | 通所者16人 | 0 |
| 普及啓発事業 | バザーや行事での活動紹介パネルの掲示、施設や活動の紹介 | 年10回 | バザ－会場や行事会場 | 9人 | 不特定多数 | 0 |